

2026年6月15日

沖縄電力株式会社

沖縄海域における潮流発電(着床式)の導入ポテンシャル評価実施について ～令和8年度新エネルギー等実現可能性実証事業補助金に採択～

当社は、沖縄県が公募する「令和8年度新エネルギー等実現可能性実証事業補助金」に応募し、このたび「沖縄海域における潮流発電^{※1}の導入ポテンシャル評価」（以下、本評価）が採択されました。

沖縄県は、島しょ県としての構造的条件等から、他県と比較して再生可能エネルギー導入への適地が少ないことに加え、独立系統における電力品質の確保などの島しょ特性に起因する様々な導入拡大の障壁があります。

一方で、沖縄県は広大な海域を有しており、未利用の海洋エネルギーについては、長期的な視野に立ち、導入拡大に向けた検討を進めることが可能です。

本評価では、未利用海洋エネルギーの活用拡大に向け、海洋エネルギーの中でも有望であり、特に台風などの厳しい自然条件下においても高い安定性が期待できる^{※2}潮流発電(着床式)に着目し、長崎県五島市沖において国内初となる商用スケールの大型潮流発電の実証運転を実施している九電みらいエナジー株式会社と連携しながら実証に向けた判断に必要となる基礎データおよび技術的知見の取得を目的として実施します。

当社は、2050年CO2排出ネットゼロの実現に向けて取り組んでおります。

本評価の実施を通じて、未利用海洋エネルギーの導入拡大に取り組み、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

※1. 潮流発電とは、潮の満ち引きによって生じる海水の流れ（運動エネルギー）を電気エネルギーに変換して発電する技術です。

※2. 台風時でも、波の影響は深さとともに弱まるため、海面に比べて海底は比較的安定している。

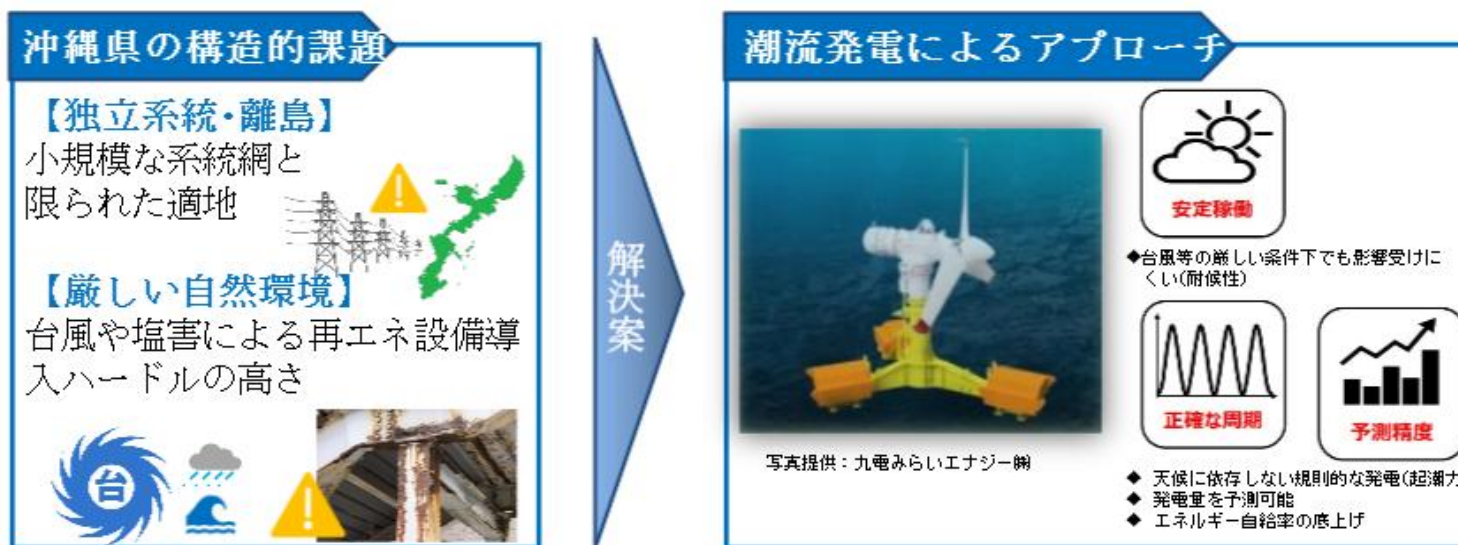
別紙：事業概要

以上

別紙：事業概要

【目的】


未利用海洋エネルギーの活用拡大に向け、海洋エネルギーの中でも有望であり、特に台風などの厳しい自然条件下においても高い安定性が期待できる潮流発電（着床式）に着目し、実証に向けた判断に必要な基礎データおよび技術的知見を取得する。



【事業概要】

1. 潮流発電に関する国内外の動向調査
2. 候補海域の整理、海底地質等の評価
3. 社会受容性、航路、および関連する行政手続きの整理
4. 系統連系などの整理
5. 導入ポテンシャル評価


【事業主体】

 沖縄電力

連携



【連携先】

 九電みらいエナジー

【事業期間】 2026年6月～2027年2月